

## 平成26年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月2日

上場取引所 東

上場会社名 ピープル株式会社  
 コード番号 7865 URL <http://people-kk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 桐渕 千鶴子  
 問合せ先責任者 (役職名) IR担当 (氏名) 飛田 留美子  
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月3日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3862-2768

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成26年1月期第3四半期の業績(平成25年1月21日～平成25年10月20日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第3四半期	2,255	16.6	8	△70.3	59	106.4	36	128.0
25年1月期第3四半期	1,934	△1.9	28	△82.8	29	△82.3	16	△83.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第3四半期	8.26	—
25年1月期第3四半期	3.62	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第3四半期	2,120	1,773	83.6	405.18
25年1月期	2,239	1,816	81.1	415.16

(参考) 自己資本 26年1月期第3四半期 1,773百万円 25年1月期 1,816百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年1月期	—	0.00	—	—	—
26年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年1月期の期末配当予想につきましては、改めて年末商戦を見極めた後に発表させていただきます。

### 3. 平成26年1月期の業績予想(平成25年1月21日～平成26年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,276	14.9	125	△19.3	179	11.5	104	11.8	23.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、四半期決算短信【添付資料】4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年1月期3Q	4,437,500 株	25年1月期	4,437,500 株
26年1月期3Q	62,221 株	25年1月期	62,221 株
26年1月期3Q	4,375,279 株	25年1月期3Q	4,375,292 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. 平成26年1月期下期(平成25年7月21日～平成26年1月20日)および  
平成26年1月期通期(平成25年1月21日～平成26年1月20日)の業績予想

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		下期(当期) 純利益	1株当たり 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円 %	円 銭
26年1月期下期	1,898	(16.5)	195	(19.5)	182	(8.8)	107 (8.1)	24.35
25年1月期下期	1,630	(1.7)	163	(△20.1)	168	(△18.5)	99(△18.3)	22.58
26年1月期	3,276	(14.9)	125	(△19.3)	179	(11.5)	104(11.8)	23.74
25年1月期	2,851	(0.4)	155	(△47.0)	160	(△45.4)	93(△45.7)	21.23

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の概要	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	8
(1) カテゴリー別販売の状況	9
【第3四半期会計期間売上高】	9
【第3四半期累計期間売上高】	9
【新発売商品】	9

【添付資料】

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

	第3四半期会計期間 (3ヶ月)		第3四半期累計期間 (9ヶ月)	
	(平成25年7月21日～平成25年10月20日)		(平成25年1月21日～平成25年10月20日)	
	金額	対前年同期間比	金額	対前年同期間比
売上高	878百万円	23.3% 増	2,255百万円	16.6% 増
営業利益	78百万円	118.2% 増	8百万円	70.3% 減
経常利益	63百万円	75.1% 増	59百万円	106.4% 増
第3四半期純利益	39百万円	80.2% 増	36百万円	128.0% 増

玩具市場の低迷は、当第3四半期の夏季商戦を挟み徐々に改善され、当社においても前年同四半期対比で玩具部門売上の健闘が著しかった事から、底堅く国内販売を支えました。海外販売の好調と合わせ当第3四半期会計期間の総売上高は、8億78百万円となり、前年同期間比23.3%増、当第3四半期累計期間の売上高は22億55百万円、前年同期間対比16.6%増となりました。

当第3四半期の玩具部門における好調は、女兒玩具カテゴリーのお人形が夏季商戦以降回復基調となったことが反映しています。根強い人気の「よちよちぼぼちゃん」のリニューアル復活発売、前年以上の店頭見本提供や、夏季商戦で「ゆかたのおまけキャンペーン」を初めて試みた事等、当第2四半期までのセールスプロモーション等が複合的に奏功し、夏以降の当第3四半期で人形体数のセルアウト回転上昇につながり、同時にお道具販売も連動し増加しています。8、9月の連続した好調が10月発売の冬季限定品への流通期待を引き出し、売上に貢献しました。

新製品発売が第1四半期に集中した乳児・知育カテゴリーは、その分当第3四半期の発売点数が前年に比べ少ないにも関わらず、上半期の好調を維持しています。中でも高額品「ピタゴラス算数」(税込¥5,250)が1歳児中心の既存ピタゴラスの購入者を3歳以上に拡げ、「ピタゴラス算数」のCMを流すと既存ピタゴラスの回転も上昇する相乗効果を出して、当第3四半期の売上の底上げに貢献しています。又、白米色の“お米のシリーズ”においしそうなマカロン色の「いろどりシリーズ」新製品4種(つみき¥10,290、なめかみ・らっぱ・マラカス各¥1,995、いずれも税込額)を当第3四半期9月度に発売し、お米シリーズのブランドシェアを2倍に拡大している等、高額ラインの高付加価値商品の人気当第3四半期では目立ち、売上に貢献しています。

一方、8、9月の猛暑は屋外用遊具等に影響し、一般市場において三輪車・乗用等の販売鈍化を招いたようです。当社でも「公園レーサー・スプラッシュ」(税込¥3,980)、「スポーツ三輪」(税込¥16,800)等の新製品の売り伸ばしに影響し、遊具・乗り物カテゴリー売上に影響しています。2歳の幼児車「いきなり自転車」は当第3四半期に「いきなり自転車プレミアム」(税込¥26,040)を発売し既存品3種と共に堅調なセルアウトを維持していますが、幼児車市場全般には停滞感が漂いました。又、幼児車、ジュニア車では9、10月でPB商品の発売品種の増加が前年より激しくなり、当社の小学校1年生用自転車の新製品「いきなり自転車22インチ」(税込¥24,990)は厳しい環境下での10月度販売開始となりました。

又、当第3四半期では、玩具・自転車以外に、視点を文具分野に当てた新規カテゴリー開拓に挑戦しています。幼稚園の年長さん向け「学校でるでるランドセル」(男女各税込¥4,179)は、玩具流通の文具売り場を活用し販売開始しました。外観リアルなランドセル(紙製)を開けると、ポップアップ絵本式に小学校が飛び出すしかけがあり、ランドセルに憧れる幼稚園生が遊びながら鉛筆や消しゴムを使って楽しく学校の知識がつくよう工夫された、ユニークで全く新しい“トイ文具”という需要掘り起しへの試みです。

当第3四半期期間の海外販売では、米国向け「マグナタイル」(当社アイテムピタゴラスの海外ブランド名)の販売が増収に繋げている他、韓国・台湾向け出荷も前年同四半期間に比べ増加し、売上貢献しています。

さて、為替の円安ドル高は当期原価に直結し、営業利益に影響している事は既にこれまでお知らせの通りです。期初に掲げた緊急対策として、一部商品の仕様合理化や上代の値上改定を当第3四半期の9月度に実行しています。又、コストダウンを優先し、中国からベトナムへの製造移転の計画を前倒し、当第3四半期ではベトナム製造・供給が開始されています。

当第3四半期会計期間では、増収と、こうした対策の実行により、営業利益は78百万円、原価構造が保たれていた前年同期間対比118.2%増(=218.2%)となり、当第3四半期累計期間の営業利益では、為替により累積した当上半期までの営業損失を補い8百万円となりました。

営業外損益では期初に先物予約した米ドルでの実仕入決済分と、予約残の時価評価損益が計上され、当第3四半期累計期間の経常利益は59百万円と前年同期間対比では106.4%増(=206.4%)となり、当第3四半期累計期間純利益は36百万円、前年同期間対比128.0%増(=228.0%)で推移しております。

当37期は、為替予約が次第4四半期必要分を消化し終えるまで営業外で時価評価され、純利益に連動していきます。尚、次期38期を睨み、米ドルに対し円安傾向は更に進行すると見込み、次期38期の仕入決済に係る為替変動リスクに備え、米ドルを当期37期中に取得する必要から、会計方針として現在の時価評価方式にヘッジ会計の繰り延べヘッジ処理を適用する旨、当第2四半期短信でご報告しています。当37期に予約した米ドルが次期38期の仕入発生時に評価され振当計上されるよう当期第2四半期より予約を開始しております。(注：4ページ2-(3)追加情報をご参照下さい。)

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末から1億19百万円減少の21億20百万円となりました。

流動資産は、売上の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加や、年末需要に備えた商品の増加等の一方、仕入決済および配当金や法人税等の支払による現金及び預金の減少の結果、19億61百万円となりました。流動負債では、仕入決済に伴って支払手形及び買掛金が減少し、また、法人税等の支払に伴う未払法人税等の減少等の結果2億95百万円となりました。

純資産合計は四半期純利益の計上及び利益剰余金の配当により、前事業年度末より44百万円減少の17億73百万円となり、結果、自己資本比率は83.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、期首より3億95百万円減少し（前第3四半期累計期間比較では43百万円の減少）10億48百万円となりました。主な要因は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権およびたな卸資産の増加、法人税等の支払により2億83百万円の支出（前年同期間比較では1億54百万円の支出の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産の取得による支出により28百万円の支出（前年同期間比較では25百万円の支出の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金支払により88百万円の支出（前年同期間比較では82百万円の支出の減少）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

（次期第4四半期を含む下半期（平成26年1月期8～1月度）見通し、および通期（平成26年1月期2～1月度）見通し）

近年、玩具の暮れ商戦は12月度1カ月間の短期決戦となり、不透明さが一層増していることや、自転車カテゴリーの年末商戦では幼児・ジュニア車が前年より更にPB商品に偏る見込み等、次期第4四半期の国内販売は下振れ要因も多く、前年を超えたとしても小幅に留まる予想です。そうした中でも当第3四半期の好調を含め、海外販売と合わせた下半期売上高は16.5%増が見込まれ、当37期通期売上高は32億76百万円の前期比14.9%増を見通しております。

厳しい中にも増収見通しの一方で、次期第4四半期では再び円安ドル高基調が100円/\$も現実となり、時価会計で実勢レートが直接原価に反映する事から原価上昇が避けられません。しかし、実勢レートに伴う著しい原価高にも関わらず、当第3四半期累計の営業利益はわずかに累積黒字で推移し、次期第4四半期の増収する見込みからも、下半期営業利益は前年同期間対比で大きく伸び、上半期の営業損失を補い黒字転換となる見通しです。

当37期通期の営業利益見通しは期初に対策した為替予約が反映しない為、前年対比では下回りますが、為替予約による営業外収益が計上される通期の経常利益見通しでは、為替の評価にもよりますが前年比11.5%増を見通しています。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(法人税法改正に伴う影響)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

### (3) 追加情報

(外貨建予定取引に係る為替予約取引のヘッジ会計の適用)

当社は、従来より外貨建予定取引に係る為替予約取引について、期末ごとに時価評価を行い、評価差額金を当期の損益として処理する方法をとっておりましたが、来期の仕入決済に掛る為替変動リスクに備え取得する為替予約について、第2四半期において社内規程等を変更し、ヘッジ会計を適用し繰延ヘッジ処理することとしました。これは為替変動リスクの管理活動を財務諸表に適切に反映し、財政状態及び経営成績をより適正に表示するために採用したものです。

なお、ヘッジ会計採用前に取得した為替予約については従来の会計処理によっておりますため、当第3四半期末における保有残高について時価評価した結果、18,186千円の為替予約時価評価益を損益計算書の営業外収益に計上しております。また、ヘッジ会計採用後に取得した為替予約については、来期に予定する外貨建取引に対しヘッジする目的であるため、繰延ヘッジ損益として評価差額金360千円を貸借対照表の流動資産の部(その他(短期繰延税金資産))および純資産の部に振り分けて計上し、来期へ繰延処理しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年1月20日)	当第3四半期会計期間 (平成25年10月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,443,376	1,047,967
受取手形及び売掛金	364,440	491,324
商品	256,824	379,870
原材料	6,886	5,636
為替予約	—	17,827
その他	15,063	19,511
貸倒引当金	△692	△934
流動資産合計	2,085,897	1,961,201
固定資産		
有形固定資産	51,600	48,200
無形固定資産	1,755	1,119
投資その他の資産		
投資有価証券	28	28
その他	99,373	109,039
投資その他の資産合計	99,401	109,067
固定資産合計	152,756	158,386
資産合計	2,238,653	2,119,586
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	216,694	195,820
未払法人税等	70,352	18,120
その他	85,151	81,094
流動負債合計	372,197	295,034
固定負債		
長期未払金	50,000	50,000
その他	—	1,788
固定負債合計	50,000	51,788
負債合計	422,197	346,822
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,442,995	1,391,621
自己株式	△33,255	△33,255
株主資本合計	1,811,246	1,759,871
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,210	13,116
繰延ヘッジ損益	—	△223
評価・換算差額等合計	5,210	12,893
純資産合計	1,816,456	1,772,764
負債純資産合計	2,238,653	2,119,586

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年10月20日)
売上高	1,933,683	2,254,924
売上原価	1,085,413	1,411,268
売上総利益	848,270	843,656
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	249,192	261,910
販売促進費	30,330	41,365
運賃	121,014	127,059
役員報酬	45,154	45,154
給料及び手当	87,757	86,883
支払手数料	42,709	41,574
研究開発費	106,157	108,939
その他	138,186	122,512
販売費及び一般管理費合計	820,498	835,397
営業利益	27,772	8,259
営業外収益		
受取配当金	218	515
為替予約評価益	—	18,186
為替差益	187	31,992
その他	647	535
営業外収益合計	1,053	51,228
経常利益	28,824	59,487
特別損失		
固定資産除却損	9	—
特別損失合計	9	—
税引前四半期純利益	28,816	59,487
法人税、住民税及び事業税	7,712	17,431
法人税等調整額	5,258	5,925
法人税等合計	12,969	23,356
四半期純利益	15,847	36,131

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年10月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	28,816	59,487
減価償却費	54,200	29,721
為替予約評価損益 (△は評価益)	—	△18,186
売上債権の増減額 (△は増加)	△121,348	△126,883
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△28,849	△121,796
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,000	△20,874
その他	31,296	△16,820
小計	△40,886	△215,352
利息及び配当金の受取額	225	522
法人税等の支払額	△88,966	△68,503
営業活動によるキャッシュ・フロー	△129,626	△283,333
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△52,595	△27,643
無形固定資産の取得による支出	△376	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,970	△27,643
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△20	—
配当金の支払額	△169,983	△87,972
その他	240	322
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,763	△87,650
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	3,539
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△352,309	△395,087
現金及び現金同等物の期首残高	1,616,748	1,442,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,264,439	1,047,856

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) カテゴリー別販売の状況

当第3四半期会計期間及び累計期間の販売の状況について、当社は単一セグメントとしているため、カテゴリー別に示すと以下の通りです。

①第3四半期会計期間売上高 (単位 千円)

カテゴリー名	前第3四半期会計期間 (自平成24年7月21日 至平成24年10月20日)	当第3四半期会計期間 (自平成25年7月21日 至平成25年10月20日)	前年 同期間比 (%)
乳児・知育玩具	301,039	304,833	101.3
女兒玩具	148,836	171,857	115.5
遊具・乗り物	123,360	116,880	94.7
その他	138,522	283,951	205.0
合計	711,757	877,520	123.3

②第3四半期累計期間売上高 (単位 千円)

カテゴリー名	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年10月20日)	前年 同期間比 (%)
乳児・知育玩具	729,004	742,167	101.8
女兒玩具	392,597	395,020	100.6
遊具・乗り物	449,540	395,975	88.1
その他	362,542	721,762	199.1
合計	1,933,683	2,254,924	116.6

③当期新発売商品

(標準小売価格は税込です)

カテゴリー名	第1四半期 新発売商品		第2四半期 新発売商品		第3四半期 新発売商品	
	商品名	標準小売価格	商品名	標準小売価格	商品名	標準小売価格
乳児 知育玩具	「ごきげん熱中チェア」	¥6,279	「ピタゴラス算数」	¥5,250	お米シリーズ「お米のつみき」いろいろ	¥10,290
	「おひぎにのんのちゃん」3種	各¥2,604	「さわっていいとも！知育テレビBIG版」	¥5,250		
	「頭と体の熱中知育ボックス」	¥7,140			お米シリーズ「お米のらっぱ」いろいろ	¥1,995
	「おまかせおひぎ」	¥525	お米シリーズ「お米のマカス」いろいろ	¥1,995		
	「オルゴール音の枕元メロ」	¥1,554				
	「カシャカシャガゼ&おしゃぶり」	¥819				
	「発見いっっぱい！お手でがらがら」	¥819				
	「ダイナミック体操」	¥1,239				
	「引っばるとカシャピカッ」	¥924				
女兒玩具	お人形「桜のぼぼちゃん」	¥4,599	おむつバッグ付き「おむつ替えごっこ」	¥1,050	お人形「ロングヘアぼぼちゃんキラキラりぼん」	¥4,809
	着せかえ「桜のフラップス」	¥1,470			着せかえ「お星さまパーカーセット」	¥1,470
	お人形「ちいぼぼちゃんミルク&スリパー付き」	¥4,389		お人形「女の子だもんぼぼちゃん2WAYマフラー」	¥4,599	
	「おしゃべりおしゃぶり入り子育て10点セット」	¥3,444		着せかえ「2WAYマフラー」	¥1,575	
	お人形「よちよちぼぼちゃんうさぎファッション」	¥4,389		着せかえ「うさぎ柄着物セット」	¥1,680	
	「おやつ時間よ！」	¥1,029		「ぼぼちゃんデビューセット」	¥9,954	
遊具 乗り物	「チェーン式スポーツ三輪」(ブルー)	¥16,800			「公園レーサー」スプラッシュ	¥3,980
	「ピタタンコ自転車」(グリーン・オレンジ)	各¥20,790			「いきなり自転車プレミアム」	¥26,040
	「1歳には全身でブロック」	¥12,390			「いきなり自転車22インチ」(ブルー・ピンク)	¥24,990
	「止めてくれるなぼくの挑戦」	オープン価格				
新規 その他	「自分でハイチェア」(グリーン、レッド)計2色	オープン価格	「つくえちゃん先生」	各¥3,480	「学校でるでえるランドセル」学校探検	¥4,179
	バスタ「おふろの電気消して！夜釣りパトセット」	¥892	バスタ「おふろの電気消して！光る生きもの」3種	各¥450	「学校でるでえるランドセル」学校ごっこ	¥4,179
	バスタ「おふろの電気消して！光る生きもの」5種	各¥450			「お笑い育児手帳付母子手帳ケース」チャック式	¥2,604
	バスタ「おふろの電気消して！専用発光体」	¥450			「お笑い育児手帳付母子手帳ケース」ジッパー式	¥2,814